

令和2年度 富士厚生会事業実績報告書

1. 本 部

昨年より引続き新型コロナウイルスの感染拡大が止まらぬ中、法人としては最善の方法を模索しながら感染防止対策を強化し、「安心・安全な生活」の提供に努め、日々介護現場に立ち人間が生きていく為に必要不可欠な仕事を担う人を目指す「エッセンシャルワーカー」としての認識を新たにしました。

コロナ禍において、他の事業所との研修・意見交換においては、課題であったウェブ会議等のデジタル化の実践が進んだ。

主な事項

- ・役員会の運営においては、新型コロナウイルス感染症の蔓延を懸念し、理事会及び定時評議員会を書面による決議で行いました。但し、理事長逝去に伴う新理事長選任理事会については感染症対策を行い施設会議室を使用して決議を行いました。
- ・監査の実施では、監事による監査を令和2年6月5日に実施し、会計監査人による財務経理監査においては各施設の経理処理及び財務管理状況を監査。
- ・研修会においても、新型コロナウイルス感染症の蔓延・拡大の状況や研修利用施設の閉鎖、三密を避けることを重んじて予定されていた研修会は中止としました。

2. 富士宮荘

新型コロナウイルスの世界的な流行により、感染症防止対策に重点を置き、入居者・家族の理解と協力の上に面会の規制や外出行事の自粛、更にボランティアによる行事も中止し、入居者の安全を図りました。

このような状況から、利用者の生活が単調にならないよう、施設内で「お花見」「ティーパーティー」「秋祭り」等職員が工夫して様々な行事を行い、充実した日常生活を送ることができました。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| ・特別養護老人ホーム富士宮荘 | 平均介護度＝3.9
年間稼働率＝99.9% |
| ・ショートステイ萩の里 | 年間稼働率＝69.9% |
| ・デイサービスセンターみどりの里 | 年間稼働率＝72.3% |
| ・居宅介護支援事業所のぞみ | 介護給付費管理研修＝460件 |

3. ネオライフとみざわ

令和2年度も、介護保険法及び老人福祉法等関係法令を遵守し、法人の規定に準拠し事業を進めて参りました。

入居者の健康状態を素早く判断し、医師への連絡・受診対応を行い入院ケースを最小限にすることを心掛けました。

新型コロナウイルスの流行により県下隣県でも感染者が出ておりましたが、面会制限などの感染症対策の継続により、新型コロナウイルスはもとよりインフルエンザ等の感染者の発生を防ぐことができました。

・特別養護老人ホームネオライフとみざわ	平均介護度＝4.43 年間稼働率＝98.9%
・ショートステイネオライフとみざわ	年間稼働率＝92.9%
・認知症対応型デイサービスセンター-菜の花の里	年間稼働率＝60.3%
・居宅介護支援事業所ネオライフとみざわ	給付管理件数＝797件
・ヘルパーステーションさつき	利用延べ人数＝4118人

4. シャローム富士川

ユニット型施設として入居者の尊厳を最優先に考え、個別ケアを確立し、生活支援に努めてまいりました。

施設理念に合わせ、「不適切なケアは行わない」を念頭におき、入居者の目線にたった支援やケアに努めました。

さらに、感染症対応の標準予防策の徹底、三密行動を避ける等、感染拡大予防の徹底を図ることで、入居者及び職員本人の発症をゼロに抑えることができました。

新規事業として、富士市の委託を受け富士川包括支援センターのランチとして連携を取りながら、松野地区の住民を対象に移動相談や実態把握の訪問事業を行いました。

・特別養護老人ホームシャローム富士川	平均介護度＝4.08 年間稼働率＝97.9%
・ショートステイシャローム富士川	年間稼働率＝93.4%
・デイサービスセンターにこここホーム	年間稼働率＝72.7%
・居宅介護支援事業所シャローム富士川	給付管理件数＝1118件
・在宅介護支援センターシャローム富士川	相談・訪問・見守＝16件

5. なかざと

ユニットケアの基本理念に基づき個別ケアの提供に努めました。

新型コロナウイルス感染予防対策により、地域との交流・外部行事はほぼ中止となりましたが、施設内の行事で少しでも楽しんで頂けるように実施しました。

また、運営推進会議を通じ近隣地域の情報収集にも努めてまいりました。

- ・ 特別養護老人ホームなかざと 平均介護度＝4.13
年間稼働率＝99.0%
- ・ 認知症対応型デイサービスセンターなかざと 年間稼働率＝29.3%
- ・ 委託事業生きがいデイ及び健康づくりデイ 利用延べ人数＝1628人

6. 松野の里

利用者の皆様が快適にお過ごしいただけるようサービスマナー向上に努め、利用者の尊厳を守り、満足度を高めるサービスの推進に努めました。

利用率の向上においては、医療機関との連携を図り重度化への対応、職員のスキルアップ、利用者及び家族の意向を反映した介護サービスを提供しました。

- ・ 特別養護老人ホーム松野の里 平均介護度＝4.27
年間稼働率＝98.7%
- ・ 委託事業生きがいデイ及び健康づくりデイ 利用延べ人員＝2195人
- ・ 地域交流センターみんなの家 利用延べ人員＝3392人

7. 草塩おんせん

令和2年度も介護保険法及び関係法令を遵守し、行政関係機関と連携を図り、よりよい介護サービスを提供し入居者が安心して過ごせる環境を整え、職員の資質向上に努めました。

感染症につきましては、職員の手洗い・うがい・マスク着用を徹底し面会制限も行い、施設での感染予防に努めました。

- ・ 特別養護老人ホーム草塩おんせん 平均介護度＝3.75
年間稼働率＝97.5%
- ・ 地域密着型通所介護サービスセンターはやかわ 年間稼働率＝50.7%

8. ソレイユ甲府

令和2年度も、介護保険法及び関係法令を遵守し、法人の規定に準拠し事業をすすめました。

嘱託医の指導の下、積極的な受診や入院の対応により長期入院にならぬよう、嘱託医・家族・各専門職と連携して対応しました。

開設から6年目を迎え、甲府市福祉保健部指導監査課の指導監査を全事業所が受け、事業所の更新手続きも無事完了しました。

甲府市内では、新型コロナウイルスにより多くの事業所が感染し発症しましたが、施設全体で感染対策の取り組みを行い利用者及び職員の感染発症を防ぐことができました。

・ 特別養護老人ホームソレイユ甲府	平均介護度＝3.7 年間稼働率＝95.6%
・ ショートステイソレイユ甲府	年間稼働率＝84.9%
・ デイサービスセンターつくし	年間稼働率＝53.6%
・ 居宅介護支援事業所ソレイユ甲府	給付管理件数＝283件

9. 三和荘

施設を住まいの場とする利用者と在宅障害者の双方への適切な生活支援を行ってまいりました。

積極的に利用者の声を聞き取るためにラポールタイムを活用し、コロナ禍における施設生活を楽しんでいただくための、日中活動や行事を考案し実施しました。

職員のマナー向上は、職員個人だけでなく職員全体の意識の底上げを図りました。

・ 障害者支援施設三和荘	平均障害支援区分＝5.6 年間稼働率 施設入所支援＝97.6% 生活介護(入所)＝97.5% 生活介護(通所)＝42.8%
・ ショートステイ三和荘	年間稼働率＝31.1%

10. くぬぎの里

社会福祉施設等が提供する各種サービスは、利用者及び家族の生活を継続する上で欠かせないものであることから、新型コロナウイルス感染症への対応を前提とし、利用者に対して必要な各種サービスが継続的に提供さ

れるよう感染拡大防止の徹底を基本に取り組みを行い、施設内での感染者を出すことなく運営しました。

- ・ 障害者支援施設くぬぎの里 平均障害支援区分＝5.5
年間稼働率施設入所支援＝96.9％
生活介護＝96.9％
- ・ ショートステイクぬぎの里 年間稼働率＝39.4％
- ・ デイサービスセンターくぬぎの里 年間稼働率＝47.3％
- ・ 指定相談支援事業所くぬぎの里 相談延べ件数＝2189件
特定相談延べ件数＝102件

1 1. きぼうの里

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大への対応を行い、利用者の健康管理に努め施設内での感染症の発症を防ぐことができました。

利用者への支援や活動については、高齢化・重度化等への対応を意識し、より充実したものにするため職員一同常に工夫・努力をおこない実施しました。

- ・ 障害者支援施設きぼうの里 平均障害支援区分＝5.0
年間稼働率施設入所支援＝99.5％
生活介護＝99.5％
- ・ ショートステイクぼうの里 年間稼働率＝78.2％
- ・ きぼうの里通所 年間稼働率＝87.3％
- ・ 地域活動支援センター 年間稼働率＝73.4％

1 2. 障がい者福祉センター小泉

障害者総合支援法の生活介護事業で多機能事業所として運営し、3年が経過しました。

利用者一人ひとりの個別支援を大切にし、コロナ禍においても他事業所が休業する中でも対策を行い、事業の継続を行いました。

新規事業として、令和2年4月より富士宮市の委託を受け、障がい児者が親亡き後に備えるための地域生活における緊急事態への対応を図るための事業を行いました。

- ・ 通所生活介護 年間稼働率＝77.4％
- ・ 放課後等デイサービス 年間稼働率＝69.3％

- ・相談センター小泉 一般相談　＝7161件
 特定相談　＝740件
- ・地域生活支援拠点 相談・対応＝42件

13. 長生園

富士宮市より、指定管理者施設として老人福祉法及び富士宮市との協定書、法人各規定を遵守し、行政と情報を共有し、措置人員に欠員が出ることなく、安全・安心な施設運営を心掛け運営しました。

新型コロナウイルス感染症においては、外出・面会の制限により利用者及び職員が共に感染予防に努めました。

- ・養護老人ホーム富士宮市立長生園 年間稼働率＝96.6%

14. 富士市富士南部地域包括支援センター

富士市からの委託を受け、10年目となりました。

センター内会議において、個別ケースの把握や対応、担当業務の計画と方向性や進捗などの協議をし、情報の共有に努めました。

15. 富士市富士川地域包括支援センター

富士市からの委託を受け、6年目となりました。

市内で最も高齢化率が高い、富士川・松野地区を担当し、複合的課題を抱えるケースや地域で孤立しているケース、身寄りのない方などの相談が多くなりその都度対応しました。

16. 富士宮市富士根地域包括支援センター

富士宮市からの委託を受け、3年目となりました。

富士根北・富士根南地区を担当し、新規相談・困難ケースなどにはその都度情報共有し、それぞれの専門分野の意見を参考に協力し支援をおこないました。